

被災地瓦礫受け入れについての質問、お願い

私達は、子供達、未来の命につながる若い方々の健康を、放射能から守りたいと願い、行動している掛川に住む有志の集まりです。

掛川市の松井市長様、職員の方々には、日頃より、市民の声をよくお聞きくださり、市民のためにご尽力くださることを心より感謝しています。

最近では、私達の大きな不安であった、子供達の食べる給食について、全国に先駆けて給食の放射線量測定を実施して下さりありがとうございました。

今回の東北の震災における多数の犠牲者に追悼の意を込めるとともに、今なお被災地において苦しむ多くの方々、避難を余儀なくされている方々の救済を切に願い、以下に述べる質問と願いを記させていただきます。

1) 被災地より瓦礫を受け入れる予定の場合、教えていただきたいことについて

12日、掛川市でも安全が確認できれば、受け入れる方向であることを新聞で読みました。私達たちが不安に思うのは、1kgあたりの放射線量が低い値でも、何千トンと多量になれば、放射性物質も多量となり、焼却されれば灰に濃縮され、安全とはいえない状況になるのではないかという点、そして安全とされる国の基準値などが変化している点です。以前の国の基準では、放射性セシウムにおいて、100ベクレル/kgを超えれば厳重管理を必要とする「放射性廃棄物」とされていましたが、平成11年6月23日、環境省の決定により、放射性セシウムが、8000ベクレル/kg以下の焼却灰は、「一般廃棄物」扱いで埋め立て処分してよいこととなりました。さらに、低レベル放射性廃棄物の埋設基準値を緩和して、8000ベクレル/kg以下を、10万ベクレル/kg以下に引き上げ、放射線を遮断できる施設での保管を認めました。そこで以下について教えて下さるようお願いいたします。

- ・被災地の瓦礫の放射性物質の検査を誰がどこでどのように採取するのか
- ・どこで調べるのか、どの核種を調べるのか
- ・どの段階で何回調べるのか、サンプルの割合
- ・費用について
- ・情報は市民にも公開されるのか
- ・掛川市では国の新しい基準値をもとにするのか
- ・独自の基準を設けるのか
- ・どのくらいの量を受け入れる予定なのか
- ・どこで焼却し、灰処理、保管するのか、保管方法

2) 空気中のセシウム拡散への不安

一般ゴミの焼却は、低温焼却するとダイオキシンが発生するので、800℃以上の高温で焼却するよう義務づけられているということです。放射性セシウムの沸点は650℃であるため、800℃以上の高温焼却をした場合、セシウムは気化し大気中に拡散すると言われています。

たまり一なは掛川市民のみならず、近隣の市民、他県の方々の幅広い年代の方の、憩いの場となっています。特に利用の多い子供達、そして周辺住民の方に何年か後、もしかして健康被害が出ないかとても心配です。バグフィルターは放射性物質の拡散防止のためには作られていない、大量の放射性物質を燃やしたことはない例も聞き不安になりました。そこで以下について教えて下さるようお願いいたします。

- ・もし焼却を開始した場合ように大気中へ影響がないか調査していくのか
- ・掛川市ではどのようなフィルターをお使いなのか

3) 運搬、焼却、灰処理に関わる職員の方々の健康管理、保障についての質問

受け入れた瓦礫に、万が一放射性物質が含まれていた場合、処理作業にあられる職員の方たちの健康被害が心配です。雇用が少ない状況の中、十分な教育・指導がないまま身が危険にさらされることはあってはなりません。市民だけでなく市職員の方々の健康も守られなければと考えます。そこで以下について教えて下さるようお願いいたします。

- ・瓦礫処理作業時の被ばく防護について
- ・健康被害が出た場合の保障について

最後に

九州、四国、近くでは岐阜県の中津川市、愛知県あま市で、瓦礫を受け入れない選択をしています。痛みを分かち合い復興を急ぎたい気持ちは、政治に携わる方のみならず市民である私達も同じです。しかし、放射性物質は焼いても無くならず、移動しても無くなりません。本来は動かしてはならないもの、厳重管理しなければならないものです。

私たちは以下のことを要望します。

- ・放射性物質が含まれている可能性がある被災地の瓦礫は受け入れないでください。
- ・被災地の瓦礫を受け入れる場合は、放射線量の測定を行い、測定値、予定総量など詳しい情報を市民に公開し、説明会を行い市民の了解を得てからにして下さるようお願いいたします。

いろいろな安全が確認されておらず、後々何が起こるかまだわからない状況で、広域処理に踏み切るのは、何世代も先の人々の健康を守ることを考えても、無責任なことに思うからです。

内閣府原 原子力委員会および安全委員会専門委員をされたこともある、中部大学の武田邦彦は放射能汚染された瓦礫が全国の自治体で受け入れることを、市民の健康被害を考え、反対されています¹⁾。

違う形での処理により復興ができないか、違う形での復興支援ができないか、市民である私たちも考えなくてはと思います。

掛川市民有志

連絡先 米丸 緑

1) <http://takedanet.com/>.